

議会運営委員会

令和6年7月19日（金曜日）午前9時55分開会

出席委員（8名）

委 員 長	中 里 康 寛
委 員	森 本 彰 伸
委 員	星 宏 子
委 員	相 馬 剛

副 委 員 長	鈴 木 伸 彦
委 員	益 子 丈 弘
委 員	平 山 武
委 員	中 村 芳 隆

欠席委員（なし）

オブザーバー（2名）

議 長	山 形 紀 弘
-----	---------

副 議 長	眞 壁 俊 郎
-------	---------

説明のための出席者（なし）

出席議会事務局職員

事 務 局 長	高 久 修
議事課長補佐 兼庶務係長	小 高 久 美
主 査	石 田 篤 志

議 事 課 長	岩 波 ひろみ
議事調査係長	長 岡 栄 治

議事日程

1. 開 会
2. 挨 拶
 - ・ 委員長
3. 協議事項
 - (1)牛柄ハッピの着用について
 - (2)行政視察テーマについて
 - (3)委員会審査の場所の検討について
 - (4)議員研修会について
 - (5)その他
4. その他

5. 閉 会

開会 午前 9時55分

◎開会の宣告

○中里委員長 ただいまより議会運営委員会を開会したいと思います。

◎委員長挨拶

○中里委員長 昨日、議員全員協議会が行われまして、その中で鈴木伸彦副委員長から携帯電話が鳴ってしまったことに対する謝罪がございました。私、議会運営委員会の委員長としても、私もそういうふうなことがないように襟を正していかなければならないというふうに改めて思ったところでございます。

議会運営委員会の皆様におかれましても、私語等を含めた会議の進行には十分な注意を払っていただくようお願い申し上げます。

また、来週の月曜日には、広聴広報委員会でこちらに星委員長がごございますけれども、子ども議会探検と小学生のイベントが開催されます。この中でも御参加される議員さんもいらっしゃると思いますが、どうかその議会の皆様にも温かい目で見守っていただいて御支援くださいますようお願い申し上げます、委員長の挨拶といたします。

◎協議事項

○中里委員長 それでは、3の協議事項に入ります。

①牛柄ハッピーの着用について。

内容について、まず最初に、事務局から説明をお願いいたします。

事務局。

○長岡議事調査係長 それでは、配信させていただきました資料を御覧いただければと思います。

こちら、1番目の趣旨ということで、牛乳の日、那須塩原市牛乳の日を記念しまして、昨年度も牛柄はっぴを着た上で議会を行ったというふうな経緯がございまして、今年度についてもやりましょうというふうなお話になります。

内容のほうは、もう昨年もやっておりますのでおおむね分かるかと思います。

3番目の今年度の実施案についてを御覧ください。

まず、9月定例会議、これはまだ議運で決定していないので、まだあくまで予定ということになります。9月6日定例会議初日の金曜日を予定しているところです。昨年同様、牛柄はっぴのほうを着用いたしまして、議会の初日を行うと。はっぴの中は、議会ポロシャツを昨年も着用しているところです。

あわせて、執行部のほうも牛柄はっぴのほうを着用する要請のほうを併せて行いたいと考えてございます。

4番の導入スケジュールを御覧ください。

本日、議運のほうでの検討、承認のほうをいただけたら、今度8月6日、執行部のほうにも依頼のほうをさせていただきます。8月22日、全協での了承をいただけたら、9月6日初日のほうではっぴを着て議会を行うというような流れでございます。

説明は以上となります。

○中里委員長 ありがとうございます。

内容について皆さんから何か御質問等はございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○中里委員長 では、このとおりに行うことでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○中里委員長 それでは、スケジュール案のとおり進めることといたします。

続きまして、②の行政視察のテーマについてに移りたいと思います。

視察のテーマについて、委員の皆様から御意見がございませんでしたので、正副で案を作成させていただきました。その内容について説明をお願いします。

事務局。

○長岡議事調査係長 それでは、配信させていただきました議運の視察のテーマ、あくまでこれは相手方のほうの受入れができるかどうかというところを確認してから確定ということにはなるわけですが、あくまでたたきということで今回御呈示させていただくものです。

期間については、10月30日から11月1日、こちらについてはもう既に議運のほうで御決定いただいているところです。

テーマについてということで、議員の成り手不足、まずは近畿大学の辻陽教授、この方が研究のほうをなさっております、実はちょっと次のページに進めていただきますと、こちらは「地方議会人」という雑誌になりまして、議員の成り手不足問題と議員定数、議員報酬についてということで研究されている先生です。

ここです、全国的な状況ですとか対応、そういうことを学べればいいんじゃないかというふうに考えてございます。

続きまして、資料のほう、また1ページ目にお戻りいただきまして、上から2番目です。議員の成り手不足の対応について、同じなんですけれども、こちらは愛知県幸田町議会があります。ここは、2回連続で無投票だった議会だそうです。そこで広報紙等を活用した中で、無投票を脱却した

というような実例をお持ちの自治体となります。

資料のほう、ちょっとまた先に進めていただきまして、ごめんなさい、行った来たで、先ほどの辻先生の次のページです。カラーで「こんにちは幸田ざかい」広報紙の中ですね。

その次のページを今度見ていただきますと、特集シリーズということで、議員の成り手不足解消に向けてということで、毎回、議会というのはどんな役割しているとか、議会のお仕事というのはどんなのというのを広報紙でシリーズ化してお知らせしていったら、その中で立候補者を掘り起こしをしたというような実例だそうです。

最後です。次のページへまたお進みいただきまして、立川市議会、請願・陳情オンライン提出ということで、もう既に立川市議会オンライン請願・陳情のオンライン提出についてももう取り組んでございます。やり方ですとか、どんなふうに行っているのか、そういったところを学べればいいのかかなと思っております。

実は、次のページにお進みいただきますと、立川市では、請願・陳情における氏名・住所の取扱いということで、載せたくないといったような希望を出されたものについては表示しないと、ホームページでは表示しないとかなというふうな取組をされているようです。ですので、こういった取組を、なかなか名前と住所まで個人的にはなくしちゃうと、じゃ、誰が出したものなのみたいになっちゃうと思うんですけども、そういったものも含め、立川市議会ではどんな議論があつてこうしたのかとか、そういったところも学べるのかなというふうなことで、一応3点挙げさせていただきました。

説明は以上となります。

○中里委員長 ありがとうございます。

こちらのほうを正副案として挙げさせていただ

きましたが、受入れ先等の許可もあるため、記載のテーマを基に正副で御一任いただくことでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○中里委員長 では、視察先が決まり次第、改めて皆様のほうにお示しさせていただきたいと思えます。

では、続きまして、3の委員会審査の場所の検討についてということに移らせていただきます。

この6月定例会議で、議員間討議の事前通告という取組が行われました。6月定例会議の後に正副委員長会議が行われまして、その中で御意見がございました。その御意見に基づいて、改めて正副で御提案するものでございます。

内容について説明をお願いいたします。

事務局。

○長岡議事調査係長 それでは、こちら委員会審査の場所の検討についてということで、まず、一番上の趣旨を御覧いただければと思います。

先ほども委員長のほうからお話しいただきましたけれども、議員間討議の事前通告を6月定例会議から実施を行いまして、終了後、正副委員長会議を開催いたしました。その振り返りの中でなんですけれども、やはり議場で行った、今回、福祉教育さんのほうでは議場で行われたわけなんですけれども、やはり議場にいと、皆さん議員さんは横並びで、どうしてもお互いの様子が分からない、議論しにくい、そういうふうなやはり御意見がありまして、正副委員長会議の中でも、やっぱりちょっと議場での議論というのは難しいのかな、そういったふうな御意見をいただいたところです。

やはり委員会審査というものが慎重な審査、議論を活発に行うということがやはり一番重要なことだろうという考えから、委員会審査の場所をやはりまた検討が必要ではないかといったことで御

提案するものになります。

2番目の現状ということで、現在、右側のこの表にあるとおり、3常任委員会、303会議室、第4委員会室、そして予算決算については議場というような運用を行っているところです。

3番目の検討事項ということで、まずは委員会審査をどうしましょうか、議場でしょうか、委員会室、そういったところを御議論いただければと思います。

仮に委員会室に戻す場合も、ちょっと執行部の人数が多いところがございます、そういったものについては、303会議室も併用して使ってはどうかといった内容になります。

仮に今回、スケジュールの一番下になるんですけれども、議運のほうで御決定いただければ、9月からの運用というのは可能かなと考えているところでございます。

説明は以上となります。

○中里委員長 説明ありがとうございました。

委員会における慎重審査や議員間討議の充実というところで、委員会室に変更をする提案でございます。

内容について皆様からこの時点で何か御意見等ございますか。

森本委員。

○森本委員 手を挙げてくれたからいいんですけれども、これ、前回、福祉教育常任委員会でやったんで、益子委員の意見を聞きたいなと思っただけなんで、手を挙げたんで、なしに。

○中里委員長 益子委員、どうぞ。

○益子委員 今、森本委員のほうからもありましたとおり、私のほうで、本日参加いただいている星委員もそうなんです、福祉教育常任委員会で今回、議場ということで担当させていただきました。その中で、議員各員においてもいろいろ差がある

と思うんですが、中にはやはりどうしても、横並びの部分で、こういった円卓で皆さんでこういうところで議論をすればやりやすい方もいらっしゃるし、逆に、そこは配信されるということで意識して、そちらのほうにばかり意識がいつてしまっていて、なかなか自分らしく言葉で発言できなかったとか、ちょっと緊張したりとか、言葉を選びながらもちょっと、ああ、これどう言っているんだろうということ、しどろもどろになってしまったりとか、場合によっては、広過ぎてその空間にもちょっとなじみなくてちょっとという方もいらっしゃるし、私、今日に至る、こういった議運に参加させていただく前にも、各議員の皆さんともお話しする機会があったんですが、どうしてもやはりコロナの以前には、こちらにも提示されていますとおり、常任委員会室を、それぞれの委員会室ということで使ってやっておりましたが、コロナを経て対策ということで議場も使いましょうということ、そういったことで行ってはいったと思うんですが、どうしてもやっぱり広過ぎてなじみなくて、本来、先ほど係長また議運長のほうからもありましたとおり、本来その議会人として議論を尽くして審議を十分に尽くした上というのがやはり第一条件ということを考えますと、やはり今までどおり、コロナ禍以前のほうに戻して、やはりその場合、さらなる議員間討議も含めてですが、そういったものをより活発にして意見を吸い上げて、そして、そういったものを我々の議決という形に表していったほうが、別な見方もすれば、いろいろな開かれた議会とか、そういった考え方もあろうかと思うんですが、それ以前にやはり一番何が大事かといったときに、やはり集中審議をしっかりとし尽くして、市民の方に説明責任を果たせるというほうがいいと思いますので、そういった方がやはり個々の各員の判断になろうかとか、

自分たちの捉え方にもよるかと思うんですが、やはりそういった方がなかなかうまく話ができないという方がいるのであれば、委員会室に戻して、そういった対応をするのも私はいいのかなと、私は今回の議場、前回は議場で放映されながらという、皆さん3常任委員会で回しながらあったと思うんですが、そういった結論に至っております。

○中里委員長 ありがとうございます。

そのほか御意見等ございますでしょうか。

○森本委員 1つだけいいですか。

○中里委員長 どうぞ。

○森本委員 いろいろ放映があるから気になるという話もあったんですけども、多分議場でやっているというのは、コロナ禍の中だというのが1つ大きな理由が1つと、あともう一つは、市民に対して開かれた議会という意味で、中継するという意味もあったと思うんですよね。ですから、その部分、その中継するという部分、コロナ禍はもうそろそろ大丈夫かなという気がするんで、中継するという部分、そこに対して何か担保できるものがあつたらいいかなとは思いますが、今現状難しいのかなとは思って、それをなくしてもそっちのほうを優先するというのであれば、それはしょうがないのかなというふうには思います。

○中里委員長 じゃ、私のほうから、その点についてちょっとお話しさせていただきたいと思います。

当然、議会基本条例には、開かれた議会というものを指すためのことが書いてございます。副委員長と、その辺のことにしても検討させていただきました。開かれた議会というものを中継以外で担保するものとすれば、我々那須塩原市議会、ホームページ上に全ての会議議事録を公開しているというところで、開かれた議会というものは担保できているのかなという認識であります。

〔「そうですね、それは分かっています」〕

と言う人あり]

○中里委員長 そのほか、御意見ございますか。

〔発言する人なし〕

○中里委員長 なければ、このとおり行うことでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○中里委員長 では、スケジュール案のとおり進めることといたします。

では、4の議員研修会についてを議題といたします。

前回の議会運営委員会におきまして研修会について正副一任となったところであります。今回一部のスケジュールが決定したため、御報告するものであります。

詳細については、この後、事務局から説明いたしますが、瀧口副市長が就任されたことから、改めて講話をいただきたいと考えまして、正副で実施の決定とスケジュールをお示しすることになりましたので、御承ください。

それでは、説明をお願いいたします。

長岡係長。

○長岡議事調査係長 それでは、資料のほうを御覧いただければと思います。

2番、3番については、前回、ごめんなさい、そうですね、一任されて御決定いただいた内容なんですけれども、一番上の瀧口副市長のほう、設定のほうが先ほど委員長から言っていたとおり、正副のほうで、せっかく今回副市長就任されて、これまでどういったことに携わってきたのか、そして、本市としてどんなふうなことを考えていらっしゃるか、そういったところのお話を聞けたらいいんじゃないか、そういったふうなお話をいただきまして、副市長のほうに局長のほうから御相談いただきました。そうしたら、副市長のほうでは、ぜひやりましょうというふうな快諾を

いただきまして、10月2日こちら9月定例会議の最終日の翌日になります。開催のほうを検討しております。ちょうどこの日、夕方、ボウリングもありまして、皆さん御集合いただくタイミングですので、まずはお勉強をしてボウリングという、そんな流れになります。

2番目の議員間討議の活性化、こちらについては昨年度も東那須野公民館で佐藤教授のほうから研修のほうをいただきました。その中で、やはり具体的な先生からはサウンドカードのお話ですとか、議員間討議というのはどうやるの、お話しただいたわけですが、具体的にどうやるか、そういった実践編ということでお話を伺えればと考えてございます。こちら10月18日金曜日の午後2時から、場所のほうなんですけれども、ちょっと東那須野公民館も本庁舎のほうも大きな会場のほうが取れなくて、大変申し訳ないんですけれども、黒磯公民館大会議室での開催を予定しているところです。

最後の川本先生については、今ちょっとまだ調整中ということで、決まり次第、御連絡させていただきます。

以上となります。

○中里委員長 説明ありがとうございました。

皆様、スケジュールのほう、御予定のほうをお願いいたします。

また、全議員さんにはサイボウズで周知のほうをしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、4を閉じさせていただきます。

協議事項として、その他に入りたいと思います。皆様から協議事項としてその他は何かございますでしょうか。

〔発言する人なし〕

○中里委員長 事務局からございますか。

〔「ないです」と言う人あり〕

お疲れさまでした。

○中里委員長 ありがとうございます。

それでは、3の協議事項を閉じたいと思います。

閉会 午前10時16分

それでは、4の大きなその他に移りたいと思います。

皆様として何かございますか。

議長、何かございますか。

○山形議長 すみません、昨日、全協の最後の部分で三本木議員が、新聞の報道でゲームをしている議員がいるなんていうふうなことであったんです。議運のほうで少し話させていただくということで、あらかじめそこまで上げるような、皆さんのモラルを信じていますので、昨日言った時点で皆さんに周知はされたと思いますので、改めてここで何してくれということはございません。もう気をつけていただければ、個人個人のモラルを信じておりますので、そういうことで三本木さんへの回答ということで、よろしくお願いします。

○中里委員長 ありがとうございます。

そのほか何かございますでしょうか。

〔発言する人なし〕

○中里委員長 事務局から何かございますか。

〔「ございません」と言う人あり〕

○中里委員長 分かりました。

それでは、じゃ、私のほうから、最後に大きなその他として1点、次回の議会運営委員会の開催日ですけれども、8月30日金曜日の午前10時から予定したいというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

—————◇—————

◎閉会の宣告

○中里委員長 それでは、議会運営委員会を閉じさせていただきます。